

Wordで図形遊び

H30. 4. 19 ITふたば会 水島講座

「図形遊び」の第1回目は、Word に標準装備されている“図形のオートシェイプ”と“図形の塗りつぶし(テクスチャ)”機能を用いて包装紙の様な繰り返し模様を作る手法を紹介します。

尚、この手順書は Word2013で作成しています。

<重点操作>

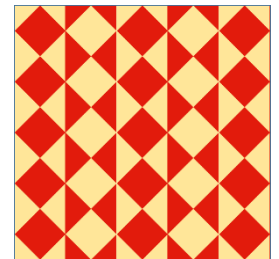
- ☆図形の挿入
- ☆図形のグループ化
- ☆図形の塗りつぶし(テクスチャ)

<準備>

- **ワードを起動**して、新規文書を開きます。
- 配置したい位置をクリックすれば、その位置に画像が挿入できる様に**1頁の先頭行から真ん中辺りまで**[Enter]キーを連続して押して改行します。

1. 包装紙風模様の作成

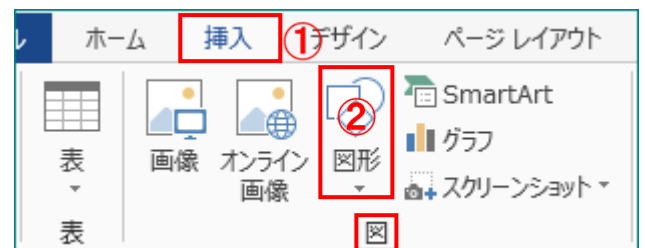
□と◇の図形を使って、右の様な包装紙風の模様を作成します。



(1) 基本となる図形の作成

「正方形」と「ひし形」から成る基本図形を作成します。

- i. [挿入]①タブをクリックして、[図]グループの[図形]▼②をクリックします。

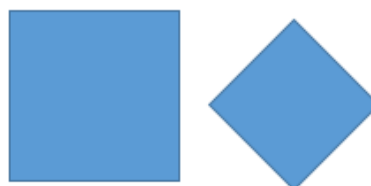


- ii. 画面の中から、[四角形]グループにある[正方形／長方形]③を選択して、3行目辺りをクリックします。

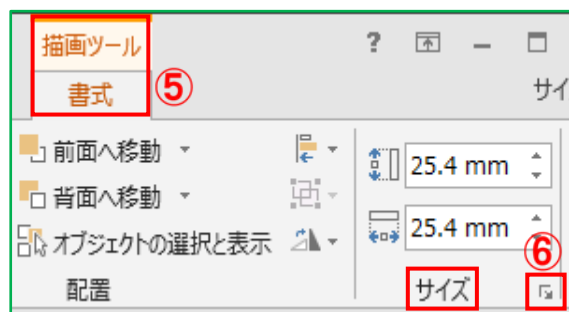
すると約25mm 大の「正方形」が描画されます。

- iii. 同じ要領で[ひし形]④を選択して、「正方形」の右隣をクリックします。

右図の様に配置、描画します。



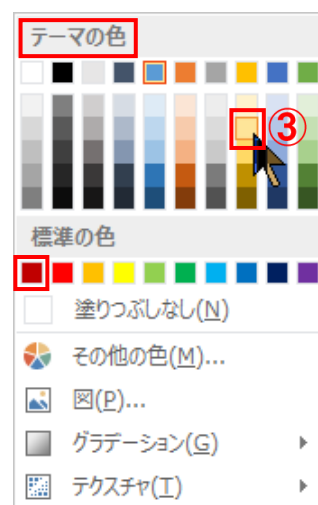
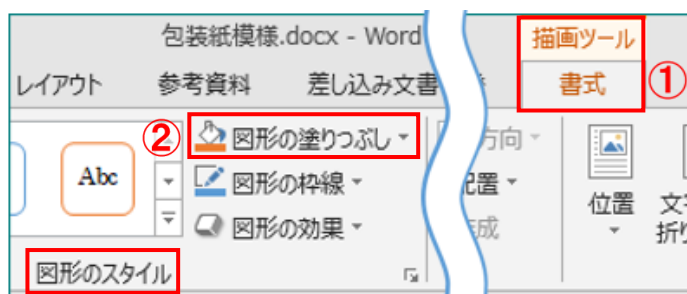
- iv. 「ひし形」を選択して[描画ツール-書式]タブ⑤をクリック→[サイズ]グループの[ダイアログボックス起動ツール]⑥をクリックします。
- v. [レイアウト]画面の[サイズ]⑦タブをクリック→[倍率]項目の口縦横比を固定する;ON に、高さ;97%に設定して[OK]⑧をクリックします。



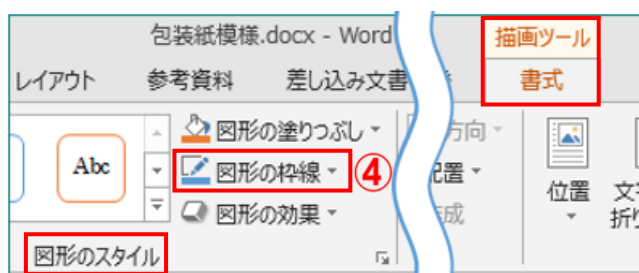
(2) 図形の編集

「図形の塗りつぶし」機能を使って、「正方形」と「ひし形」の色を変更します。

- i. 「正方形」をクリックします。
- ii. [描画ツール-書式]タブ①をクリック→[図形のスタイル]グループの[図形の塗りつぶし]▼②をクリック→[テーマの色]の中から[ゴールド、アクセント4、白+基本色60]③を選択、クリックします。



- iii. [図形のスタイル]グループの[図形の枠線]▼④をクリック→カラーパレットの中から、[線なし]⑤を選択、クリックします。



iv. 右の「ひし形」をクリックして、上記 ii. の要領で[標準の色]の中から[濃い赤]⑥を選択、クリックします。

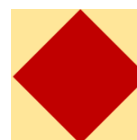
v. 上記 iii. の要領で[図形の枠線]を[線なし]にします。

右図のようになります。



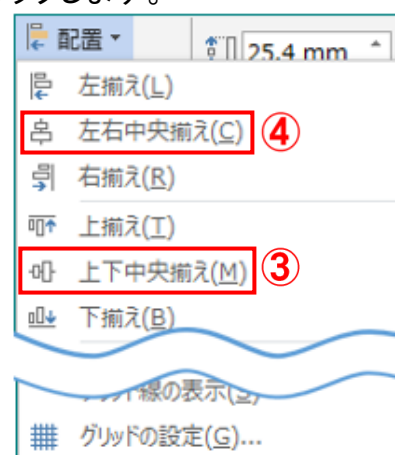
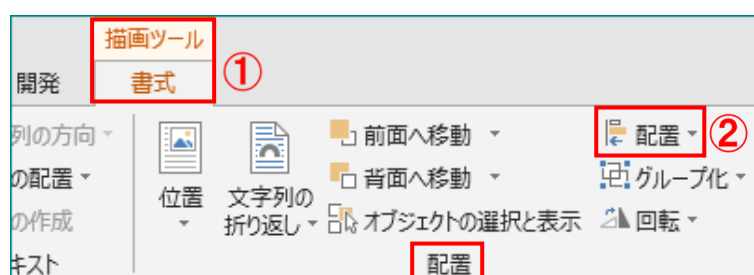
(3) 基本図形のグループ化

ここでは「正方形」と「ひし形」を右図の様にグループ化します。

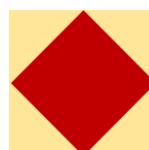


i. 「正方形」を選択して、「Shift」キーを押したまま「ひし形」を選択します。[描画ツール-書式]タブ①をクリック→[配置]グループにある[配置]▼②をクリックします。

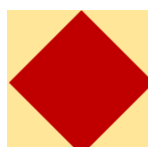
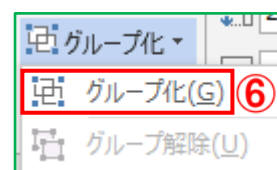
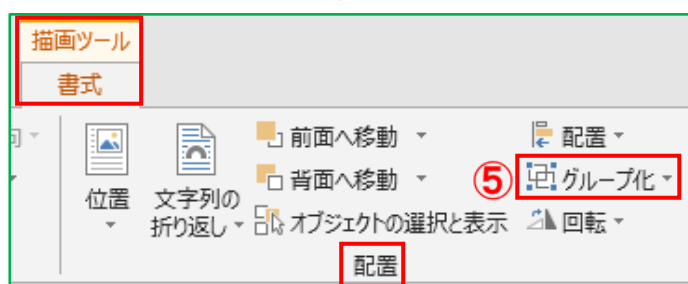
ii. メニューの中から[上下中央]③をクリック→[左右中央]④をクリックします。



右図の様に配置されます。



iii. [配置]グループにある[グループ化]▼⑤をクリック→メニューの中から[グループ化]⑥をクリックします。

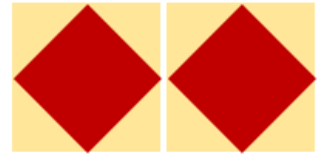


以降、「基本図形1」と呼び事にします。

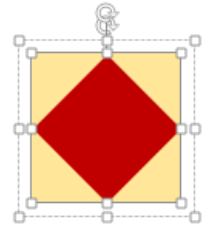
(4) 色違いの同じ基本図形の作成

(2)で作成した「基本図形1」を基にコピー&貼り付けして、色だけを別途設定します。

- i. 「基本図形1」をクリックして、「Ctrl」キーと「Shift」キーを同時に押したまま、右にドラッグして右図の様にコピーされたら、キーから手を離します。



- ii. コピー&貼り付けした図形(以降、**基本図形2**と呼ぶ事にします)の「正方形」の部分^①を2回クリックします。すると右図の様に選択された「正方形」が実線で表示されます。



- iii. この部分を上記(2) iv. の要領で[濃い赤]に塗りつぶします。

右図の様に全体が[濃い赤]になりました。



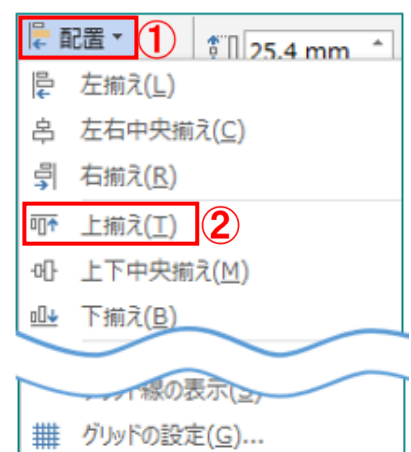
- iv. 塗りつぶし前の「ひし形」の部分(図形の中央)を2回クリックします。

- v. この部分を上記(2) ii. の要領で[ゴールド、アクセント4、白+基本色60]に塗りつぶします。すると右図のようになります。



(5)「基本図形1」と「基本図形2」のグループ化

- i. 「基本図形1」を選択して「Shift」キーを押したまま、「基本図形2」をクリック→[描画ツール-書式]タブをクリック→[配置]グループにある[配置]▼^①をクリックします。
- ii. メニューの中から[上揃え]^②をクリックします。これで二つの図形の頭が揃いました。
- iii. 「基本図形1」を選択して、「右向き方向キー▶」を小刻みに打鍵して下右図の様に図形同士をピッタリとくっつけます。



- iv. 二つの図形を選択して、上記(3) iii. の要領でグループ化します。

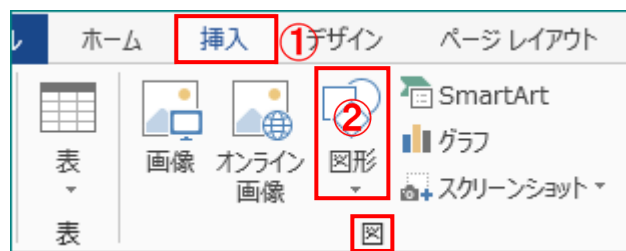


以降、この図形を「基本パターン」と呼ぶ事にします。

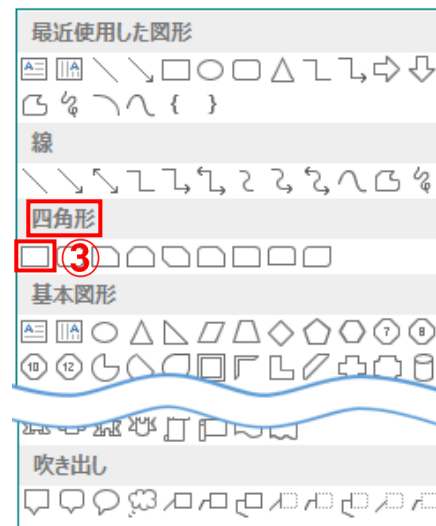
(6)「包装紙風」模様の作成

作成した「基本パターン」の絵柄を用いて、“図形の塗りつぶし(テクスチャ)”機能を使って「包装紙風」模様を作成します。

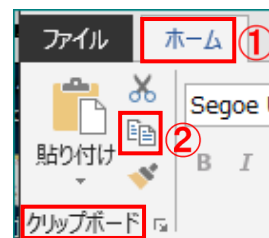
- i. [挿入]①タブをクリックして、[図]グループの[図形]▼②をクリックします。



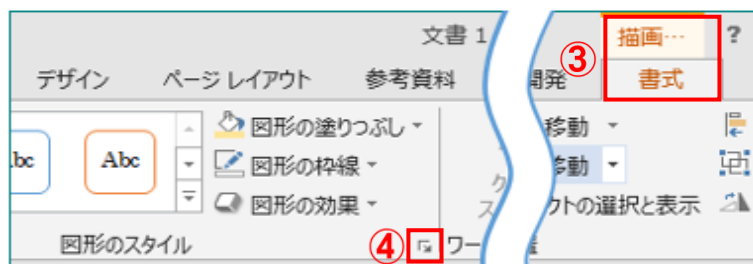
- ii. 画面の中から、[四角形]グループにある[正方形／長方形]③を選択して、「基本パターン」の2～3行下辺りにA4 版半分大(適当に！)の長方形を描画します。



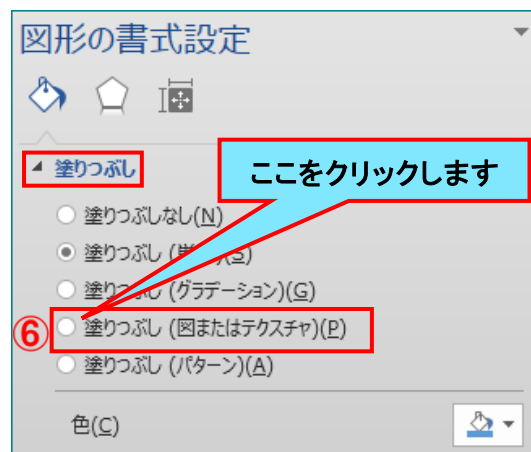
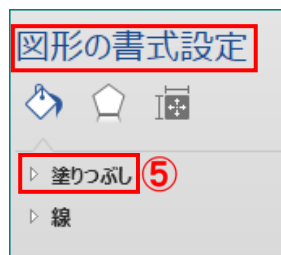
- iii. 「基本パターン」を選択して、[ホーム]タブ①をクリックして、[クリップボード]グループにある[コピー]②をクリックします。



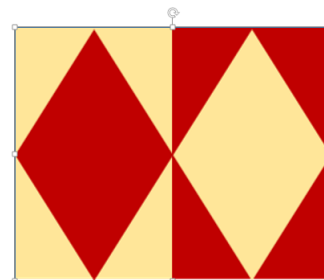
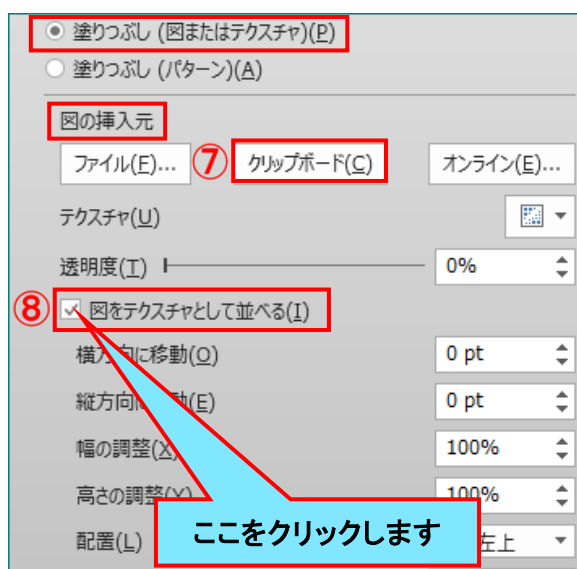
- iv. A4 版半分大の長方形をクリックして[描画ツール-書式]タブ③をクリック→[図形のスタイル]グループの[ダイアログボックス起動ツール]④をクリックします。



- v. [図形の書式設定]画面の[塗りつぶし]⑤をクリックして、[塗りつぶし(図またはテクスチャ)]⑥のオプションボタンをクリックします。



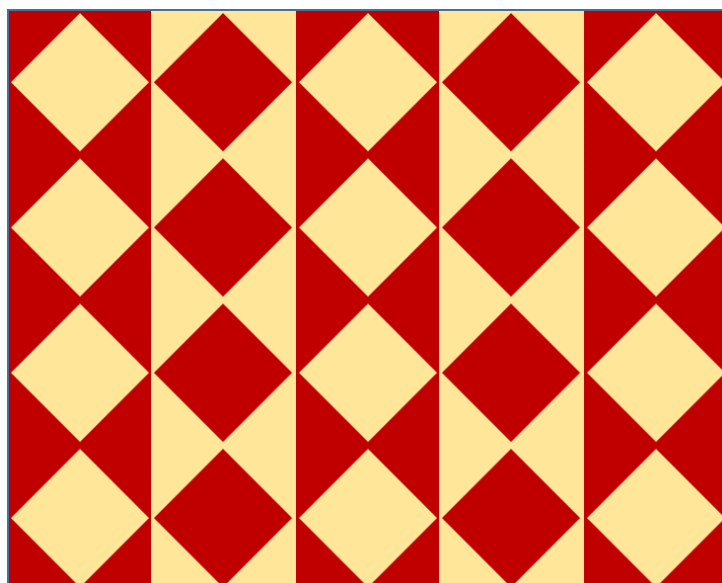
- vi. 表示されたメニューの中から[図の挿入元]項目にある[クリップボード]⑦をクリックします。
すると下図の通り、上記(6) i. で描画した「長方形」に「基本パターン」が貼り付けられます。



- vii. [図をテクスチャとして並べる]⑧のチェックボックスをクリックします。

すると基本パターンの図柄が繰り返し貼り付けられて、包装紙風の模様が出来ます。

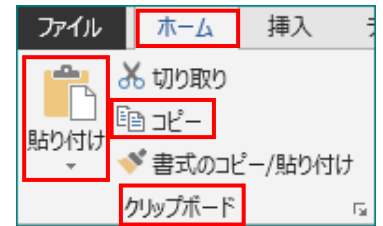
包装紙風模様



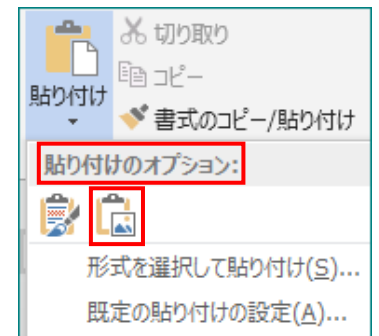
(7)「包装紙風模様」図案の保存

作成した「包装紙風模様」を図として保存します。

- i. 「包装紙風模様」を選択して、[ホーム]①タブをクリック→[クリップボード]にある[コピー]②をクリックします。
- ii. 「包装紙風模様」の3行目下辺りをクリックして、[貼り付け]▼③をクリックします。

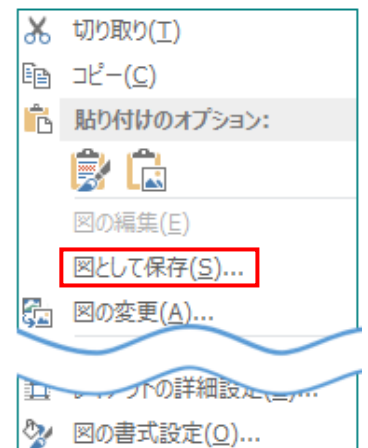


- iii. 表示された[貼り付けオプション]メニューの中から、[図]④をクリックします。



「包装紙風模様」が図として貼り付けされます。

- iv. 貼り付けされた「包装紙風模様」の図上で右クリックして、表示されたメニューの中から、[図として保存]⑤をクリックします。



- v. [名前を付けて保存]画面で、保存場所；デスクトップ、ファイル名；包装紙風模様（お好みで！）、ファイルの種類；PNG で[保存]をクリックします。

